



[田瀬ダム]田瀬湖の水質を保全するため

～水質保全設備(曝気装置)を6月1日から稼働します!～

田瀬ダムでは、平成11年頃よりダム湖に「アオコ」が発生しており、その抑制のため、平成19年から「散気式曝気装置(水中に空気を送り湖の水を循環させる装置)」を稼働しています。

「アオコ」はダム湖の表面水温が高くなる夏季に植物プランクトンが異常増殖して発生するため、曝気装置を稼働させ、強制的に湖の水を循環させることで表面水温を下げ、「アオコ」の発生を抑制する効果が期待できます。

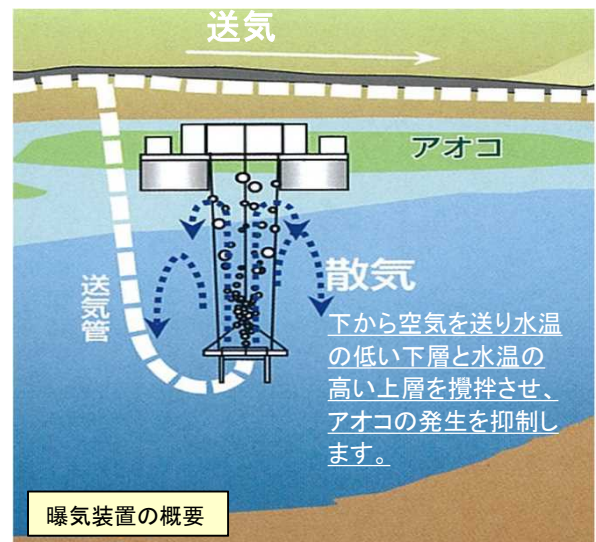
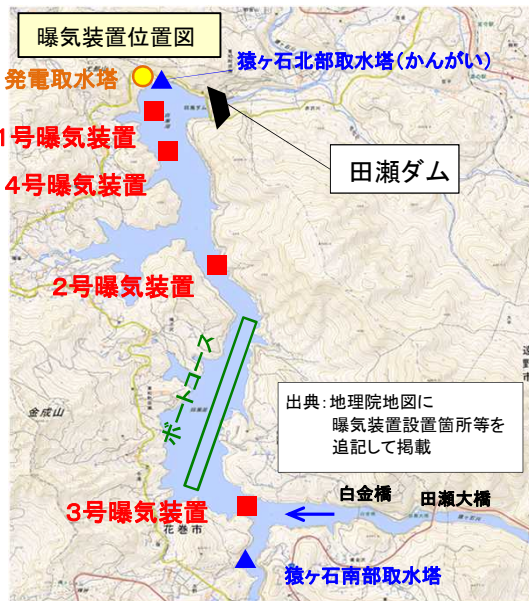
この対策により、平成29年から令和4年はアオコの大規模な発生はしておりません。引き続き水質保全に努めて参ります。

■水質保全設備(曝気装置)の運用計画

1. 運転期間: 令和5年6月1日(木)10時～10月31日(火)【予定】
2. 運転方法: アオコ発生状況に応じて曝気装置を運転
3. 監視体制等:
田瀬ダムではダムサイトの水質自動監視装置による監視に加え、定期水質調査(1回/月)及びダム湖の巡視(2回/月)を実施し、アオコ発生等の状況を把握し、関係機関への情報提供を行います。



曝気装置の稼働状況



曝気装置の概要

《発表記者会:岩手県政記者クラブ、花巻記者クラブ》

＜問い合わせ先＞

国土交通省 東北地方整備局 北上川ダム統合管理事務所
〒020-0123 盛岡市下厨川字四十四田1番地

副所長 みかみ ひろし 三上 博司 (内線 205)

管理第一課長 かまだい たけし 釜台 健 (内線 331)
(代表TEL:019-643-7831)

北上川ダム統合管理事務所 田瀬ダム管理支所
〒028-0123 岩手県花巻市東和田瀬39-1-3

支所長 なかじま みのる 中嶋 稔 (内線 6221)
(代表TEL:0198-44-5211)

【参考】

～「アオコ」とは～

水中の植物プランクトン（ラン藻類）が大量に増殖して水の表面が緑色の粉を吹いたようになる現象のことです。

富栄養化の進んだ全国の湖沼で見られます。



写真：アオコが大規模発生した際の状況（田瀬大橋付近）